

4.14 抗議集会 中央公園に340名が結集!

国鉄「分割 民営化」反対 / 三里塚二期工事阻止!

日刊 勤労千葉 1988.4.18

No. 2799

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

全組合員のストライキ体制築こう

勤労千葉は、四月十四日、千葉市中央公園において、「JR千葉支社抗議集会」を、二四二名の組合員をはじめ三四〇名の結集でかちとり、さらに集会終了後、千葉支社への怒りの抗議デモをたたかいぬいた。

(詳結は次号)



もはや、黙ってはいられない。四月反動攻撃に反撃を！ストライキで、当局・革マル鉄道労連に痛打を浴びせよう！

ストライキで反撃を

しかし、この攻撃は、敵のあせりからられたものであり、無理に無理を重ねたものである。

われわれが開き直り、ハラをすえて起ちあがるならば、必ずや破綻する代物である。

全国では、勤労西日本の4・1、4・18スト、国労組合員の4・1、4・9ストと全国で不屈のたたかいかちとられている。

JR当局の悪質極まりない不当労働行為を粉砕し、スト絶滅を叫ぶ鉄道労連を許さず、全組合員のストライキ体制を構築しよう！

もはや黙ってはいられない

「四・一」「一周年」を境に、全国で国鉄労働運動破壊攻撃がより一層激化している。

青森車掌区では、休日に職場に来て脱退者を追及したことを口実に国労組合員が不当解雇され、秋田では年末手当で5%カットに抗議したを口実に十四名が出勤停止などの処分、新宿駅要員機動センターでは、国労組合員が強制配転の理由を管理者にたたかいたところ、管理者がその組合員を突きとばすなどの暴行を振るった。そして、勤労千葉に対しては、三二名の強制配転、二四の不当処分、兼務外しん、組合脱退強要などの組織破壊攻撃である。

つまり、JR当局・革マル鉄道労連は、昨年の「四・一」で出来なかった勤労千葉・国労破壊を今年の「四・一」を賣店に更に強め、国鉄労働運動を絶滅する攻撃に踏み切ったのだ。

いま、組合員の怒りは頂点に達している。「命令と服従」「低賃金と労働強化」、そして、さかまく勤労千葉・勤労総連合、国労の絶滅にむけた攻撃、まさしくJRは、奴隷会社だ。

強制配転に怒り 津田沼支部 激励会

四月十五日、津田沼支部は、六十名の組合員が参加するなか、強制配転者激励会を開催した。津田沼支部は、支部書記長をはじめ執行部四名を含む九名が不当配転させられた。とりわけ、津田沼運転区の乗務員は、強制配転者五名中四名が勤労千葉の組合員である。激励会は、強制配転された仲間が全員決意表明し、「今回の強制配転は、津田沼支部 解体攻撃だ。これに負けることなく配転先でたたかいを拡大する。残った組合員は、浜野支部長を支え、頑張ってほしい」と、異口同音に語った。勝負はこれから、強制反転攻撃に屈することなくたたかおう！

4.29

臨時大会

AM 10.00 岩倉着 福祉センター

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ!